

令和2年度第1回総合計画審議会 会議録（要点）

- 日時 令和2年7月10日（金）14:00～16:10
- 場所 御嵩町役場本庁舎2階 第1委員会室
- 出席者 審議会委員（敬称略、50音順）10名
安藤雅子（御嵩町議会）、鍵谷幸男（農業委員会）、重政伸司（金融協会）、
須田俊幸（民児協）、中瓦智子（教育委員）、藤掛義彦（商工会）、
益川浩一（岐阜大学）、松浪保夫（行革推進委員会）、水野耕治（活性化委員）、
山田儀雄（御嵩町議会）
事務局 5名
須田和男（総務部長）、中井雄一郎（企画調整担当参事）、
山田敏寛（企画課長）、丹羽英仁（企画調整係長）、玉川勇気（企画調整係員）
※都合により欠席となった委員（敬称略、50音順） 2名
小池卓也（子ども会育成協議会）、鈴木元八（観光協会）

■議事録

○開会

企画課長	ただいまより令和2年度第1回御嵩町総合計画審議会を開催いたします。 ===== (資料の確認) ===== それでは、審議会の開催に当たりまして、当審議会の益川会長にご挨拶をお願いいたします。
------	--

○開会あいさつ

益川会長	コロナ禍の中、日常に戻ることは難しい状況ですが、町の業務として必要な部分になりますので、総合計画審議会を進めたいと思います。後期基本計画の策定に向けて、よろしく申し上げます。
------	---

○委員委嘱

企画課長	委員委嘱に移ります。令和2年5月15日より商工会長が平井繁幸様から藤掛義彦様に交代となったことに伴い、新たに藤掛様に委員委嘱させていただきました。藤掛委員より委嘱にあたり一言お願いできればと思います。
藤掛委員	役員改正で商工会の会長という重責を拝命しました。皆さまのご指導いただき、

	誠心誠意がんばっていきますので、よろしくお願い申し上げます。
企画課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>なお、令和2年4月1日より御嵩町子ども会育成協議会長が葛谷紀子様から小池卓也様に交代となり、新たに小池様に委員委嘱をさせていただきましたが、小池委員は本日欠席ですので、後日委嘱書を交付させていただきます。</p> <p>また、4月の人事異動に伴い、事務局の体制も変更となっておりますので、紹介をさせていただきます。</p> <p>=====</p> <p>事務局紹介</p> <p>=====</p> <p>本年度の体制は以上のとおりです。よろしくお願いいたします。</p>

○副会長選任

企画課長	<p>次に、交代となりました平井委員に代わる副会長の選出をお願いしたいと存じます。</p> <p>=====</p> <p>委員の互選による意見なし</p> <p>事務局で藤掛義彦様を推薦し、承認を受けた</p> <p>=====</p>
------	---

○諮問

企画課長	<p>第五次総合計画後期基本計画の策定あたり、諮問を行います。まずは、御嵩町長の渡邊公夫が一言ご挨拶申し上げます。</p>
町長	<p>皆さんこんにちは。お忙しい中、また、足元の悪い中ご参加いただきましてありがとうございます。非常に暑い思いをしながら日常を送っているのが現実と思います。</p> <p>このところ、突発的なことに対応する事案が多くなっています。大きなもので言えばここ数年で学校のエアコンを設置していく、大きなお金を使いながらやっており、なんとか小中学校全ての教室には完備することができたという現状です。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の問題において、対応に困ることが多く発生しています。防災の観点から言えば、今回の豪雨では御嵩町は難をのがれたが、これは運がよかっただけだと思っています。来週も降り続くようなので、いつ御嵩町が被害を受けてしまうのか分からない、どれだけ防災を考えても、減災はで</p>

きるが防災は難しいというのが正直なところで、そこで人々がどう判断していくかというのを非常に大切にしなければならないというのがこれからの時代だと感じています。

新型コロナウイルス感染症の問題に関しても、国が言わないと言うことを聞かない、誰かが判断しないと動かないという人も多く、責任は重いもののそこまで決める必要があるのか疑問に思うこともありましたが、今の流れがそうならリーダーシップを執って動く必要があるだろうと考えていかなければいけないと改めて思っているところです。

右肩上がりで高度経済成長期という時代もあり、それによって総合計画も必要になってきたと思っていますが、10年、5年のスパンでも難しいことがあり、例えば庁舎を建て替えることは13年前町長に就任した時はまったく自分の政策にはなかったことです。阪神大震災、東日本大震災とあり次は南海トラフと言われるようになり、この庁舎も耐震補強して何とかしのげると期待していましたが、残念ながら、現庁舎は約45年前に建設しており、10年間限定で使って他に移動が必要でした。耐震化も検討しましたが、それでも8~9億円要すると分かったので、それはもったいないと考え新築を決断しました。新築はその倍額はかかるとわかっていましたが、庁舎はほぼ半世紀使うので、ある程度の世代が背負っていかないといけない、借入も必要だと考えました。行財政のしくみとして、借金で賄った方が国の支援も受けることができるという観点もあり、一番有利な財政運営もしていきたい。今の基金は使わずに借金をした方が有利となるのが、計算上分かってきており、そのような対応をしていきたいと思っています。

町民の皆さんにいろんな指針が示せると良いですが、委員の皆さんからご意見をいただきながら新しいことにも挑戦し、守らなければならないことは守っていくというシンプルな町政を実施していきたいという思いで取り組んでいきたいと思っています。

まだまだアピールが足りないと反省していますが、SDGsについてもいろんな企業の取り組みが始まっています。私が議員になった頃には環境でビジネスができるのか指摘されたものでしたが、いよいよ環境でビジネスができるようになったという状況です。全国的に見ても国連が提唱しているもので、御嵩町においても取組が必要な状況です。

ただ、御嵩町としてもこの点においては先進的な取り組みをしていると自負しています。森林経営信託において使える木を間伐することを進め、経営としては国の補助金もいただいているが黒字経営であり、国にも説明したが、SDGsの本来の形と村上先生から高く評価されましたので、そういった部分をアピールしながら、御嵩町は人を大切にすまちなで、温暖化問題にも取り組んでいるまちだということを町民に良い形で伝え、胸を張っていただけるような状況にしていきたいと思っています。

	<p>本日諮問する内容については、社会保障、教育のことが多くなると感じていますが、次世代にこの町をつなぐために非常に大切なことです。安全であり、安全であるから安心であるというまちをつくっていきたいと思っています。委員の皆さんには貴重なご意見をいただき後期基本計画を策定したいと思いますので、お知恵をお貸しいただいて、意義あるものにしていただきますことをお願いしまして私のご挨拶とさせていただきます。</p>
企画課長	<p>それでは諮問書により諮問をさせていただきます。 =====</p> <p>渡邊町長から益川会長へ諮問書を手渡し =====</p> <p>まことに恐縮ですが、町長はここで退席させていただきます。 =====</p> <p>町長退席 =====</p>

○議事

企画課長	<p>それではただいまから議事に入ります。本日の出席委員は10名と、規定により過半数以上でありますので、本会議は成立しております。</p> <p>また、会議の議長には規定により、会長に務めていただくことになっておりますので、益川会長よろしく願いいたします。</p>
益川会長	<p>それでは規定によりまして議長を務めさせていただきますので、よろしくお願い致します。皆さま方のご協力をいただきながら円滑に進行したいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。</p> <p>それではお手元の次第に従い進めさせていただきますが、その前に次第の5、第五次総合計画に係る令和元年度実績報告、次第の6、第五次総合計画前期基本計画の総括について、これまでの振り返りの部分を進めたいと思いますので、まずは事務局から説明をよろしく願いいたします。</p>
事務局 企画調整 係長	<p>=====</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【資料1 方針別基本計画令和元年度実績】前年度から評価の変更があった項目を中心に説明 ・【資料2 成果指標別実績】トピックスとなる部分を中心に説明 ・【資料3 単位施策別前期基本計画の主な取組内容と課題】トピックスとなる部分を中心に説明

	=====
益川会長	事務局から資料1～3に基づいて、第五次総合計画のこれまでの取組の振り返りの部分についてご説明をいただいたところです。ただいまより、委員の皆さまからご意見、ご質問をいただく時間とします。お感じになっていることについて、ご質問でも委員の皆さまからご意見をいただきたいと思います。
水野委員	このコロナ禍において、インバウンドで来ていた観光客がなくなったということで、政府も相当苦労している感じを受ける。御嵩に住んでいて、他地域から来て消費してもらうためには大変な努力が必要な状況。御嵩町で散策、食事、土産を買って電車に乗って帰っていただくサイクルが全くストップしている状態で、行政の方も努力していただいているのはわかるが、日本全国、どこでも同じ心配がある状況で、これからの解決策、施策があれば伺いたい。
益川会長	基本計画の中でも「多くの人が行き交うまち」を掲げ、その中では滞在時間の増加などが目標としてあると思いますが、with コロナの観点も含めて後期基本計画では部分大きなところ。
企画調整係長	これまでやってきたことが通用しなくなっているのが現状。 昨日、県内の移住者に関わる担当者会議で、地元の地酒や特産品を事前に購入していただき、その後にスマートフォンで Zoom などのアプリを活用し、観光地などを映し出しながら、楽しみながら家で楽しんでいただき、それを見ながら食事をしていく試みが紹介され、参加費としてお金を得るというものもあった。 このようなデジタルな部分も使っていく必要がある。観光としては来ていただくことが一番であるが、それができない中では、デジタルな部分を組み合わせながら地元の観光に携わっている方、商店の方と手を組めるような施策も考えていきたい。
益川会長	価値観が大きく転換するところで、コロナによって社会の課題も明らかになってきている。今後コロナなどのリスクと共生しながら、どうやっていくのか考えつつ、行政の発想も転換が必要であると思う。 これは観光に限らず様々な分野で出てくると思うので、委員の方でも踏まえながらご意見をいただきたい。
藤掛副会長	全国的に祭りなどが自粛ムードになっており、アフターコロナ、ウィズコロナの中でどうやっていくのか、当初は中山道の狭い中を、人々を呼んでにぎやかにするという発想だったが、根本的に難しくなるようであれば、今後イベントのあ

	<p>り方をどうしていくのか、商工会でも議題になっているところ。</p> <p>汗をかいて、みんなの息が届くのがお祭りであったが、どういう姿になってくのか、皆さんのご意見をいただきながら、新しいイベントづくりをしていきたいと考えている。</p> <p>もう一点、防災面について、毎年のように被災が発生し、今までになかったというコメントがされているが、温暖化の関係でこれが当たり前になってくると思う。そう考えると、減災を考えるまちというのは、亜炭鉱の充填も含め積極的に進めていくと御嵩町のPRとなると思うし、被災した場合の家財道具の集積地なども前もってシミュレーションしながら、災害に強いまちであることをアピールしていくのが重要であると思う。</p>
益川会長	<p>リスク管理、危機対応についても、どう対応していくのかというのは行政としての取組みどころと思うので、リスクへの対応もしっかり考えながら、基本計画についても考えていく必要があるということだと思う。</p> <p>また、町長のご挨拶でSDGsの話が出たが、国際的なスタンダードであり地域、自治体においても目指すべき方向であると思う。御嵩町は環境モデル都市として先進的に取り組んできた実績もあり、さらに幅広い観点でSDGsを進めることを強く意識すべきだと思いながら聞いた。</p>
安藤委員	<p>SDGsについて、SDGsは町民にも理解をしてもらいながら、理解した人を増やして進めていくべきという話であったと思う。先般カードゲームでSDGsの勉強会をやって、SDGs仮想社会を体験したが、実はSDGsは理解しにくいと思っている。そこで、町内で講師育成を図り、集会などを進めていけると、新しい企業のあり方にも結び付くことになる。町民や民間との協働の気運も高まっており、行政から踏み出しながら協力体制をつくっていくのが大切であると思う。</p> <p>また、防災について、せっかく自主防災会があるので、各自治会に防災リーダーが育成できるように、行政から強く働きかけるべき。防災リーダーと自主防災会が、同じスタンスで地域の防災に取り組める環境づくりを行うと良いと思う。</p> <p>防災訓練の参加者が減っているのは、訓練内容がマンネリ化して、5～6年同じような内容で行われている。特に学校区を対象とした大きな形の訓練はマンネリ化しがちと思う。地域の避難所を拠点とした防災訓練ができれば、地域にあわせて、水害がある、地滑りがある、高齢者が多いといった、それぞれの特性に応じた内容の訓練ができるようになると思う。高校生からも防災リーダーが育っているので、そこを巻き込みながらできるようにすることが大事。</p> <p>ボランティアについてはいろいろなものがあるが、ボランティアセンターができたので、町民から見ると福祉課がやっけていても社協がやっけていてもボランティ</p>

	<p>アであり、担当に関わらず、せっかくボランティアセンターができたので、そこへ連絡すれば仕事内容などを振り分けてくれるという窓口を絞り込んだ推進方法を考え、各課、団体をまたいだ協力をする形がつついていければ良いと思う。</p>
企画調整係長	<p>ワンストップ化については、町民が頼るところは各課ではなくあくまでも御嵩町本体になるので、今後の組織改革などで大きな項目として検討していきたいと思う。</p>
益川会長	<p>まさに人づくりについてのご指摘。人口減少の社会にあって定住人口、関係人口を増やす方向もあるが、最近よく言われているのが、住んでいる人がまずいろいろな活動に参加して活動人口となり、こうした方々を増やしていくことが人口増には大事であるということ。安藤委員のご意見は、積極的に活動人口を増やすということに集約できるので、こうした施策はさらに強化していくことが大事だと感じた。</p> <p>次期の計画についてのご意見も含めていただいているので次の議題に進もうと思うが、SDGsと並んで Society5.0 についても含めて書き込んでいくことが後期の計画として重要な観点となってくると思う。</p> <p>評価としては、計画通り、目標以上のものもあり、A、Bで概ね計画通り進んでいるという現状ですので、委員の皆さまにはまずそこをご確認いただければと思う。</p> <p>コロナ対策という大きな問題に対してどう取り組むかということ、リスク対応も重要であるということ、新しい方向性としてSDGsの観点をもっと入れていくこと、Society5.0 に関すること、それに伴う人づくりが大事ということ、委員の皆さまからのご意見をまとめるとそういったところになるかと思えます。</p> <p>議事としては次に進みますので、次第の7、第五次総合計画後期基本計画の策定に向けた進捗状況について、事務局から説明をお願いします。</p>
企画調整係長	<p>後期基本計画の策定に当たって主に次の事項について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ○御嵩町の財政状況（平成30年度ベース）：財政係長 ○後期基本計画策定に関しての方針等（Society5.0、庁舎建設等） ○策定手法（コロナにより流動的となるが多くの方の意見を頂戴したい等） ○策定体制（まちのたね見つけ隊の発展形）
益川会長	<p>この議題については後期基本計画に当たって、まさに諮問を受けた内容であり、委員の皆さんにご意見をいただきたい。また、こういった視点を含めるべきというそれぞれのご意見も含めて、ご質問もいただければと思う。</p>

<p>鍵谷委員</p>	<p>前回の審議会の中で出た御嵩町の庁舎については、平成 28 年から令和 7 年度の 10 か年計画の中に入っていなかったことを指摘したが、それが今回の策定方針に示されており、これから着実に実施されるという方向性であるのは良いことである。</p> <p>ここで質問したいことは、言葉の一人歩きについて誤解を与えるような問題を提起したいということ。新庁舎を防災拠点とするということであるが、防災拠点の定義とは。農振協議会に諮っている現在の絵が防災拠点のことであるかということを考えている。身近なところに問題が起きる大水害を含めて、新庁舎に防災拠点という言葉を使うなら、その内容については地域の皆さんの安全・安心、多くのボランティアの受入れ、実施計画においてボランティアは位置付けられているが、それらを取り巻く交通アクセス、道路問題も含めて、現在の絵が防災拠点の絵ということか。それとも、実施計画の中で皆さんの意見を聞いて、修正するところは修正していくつもりであるかというのを聞かないと、7月17日の農振協議会の除外申請について、庁舎の部分について延期手続きをとって待ちの状態になっている。あの絵をそのまま踏襲するのか、地域、議員の皆さんの意見も含めて修正しながら、防災拠点として確立するのか、この1点だけ、聞かせてほしい。</p>
<p>益川会長</p>	<p>大変シビアな課題と思うが、新庁舎建設は大きなこと。地元理解などを含めてということ、事務局からどうか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>庁舎となれば当然災害の際には対策本部を設置することになる。また、町民ホール等は避難所を兼ねた施設にしたいということで防災拠点という言葉を使っている。</p> <p>計画としては農振協議会で審議中であり、設計も進めているが、関係機関等と協議しながら案を示しているという状況。今後もいろいろなご意見をいただいているので修正できる箇所については対応する余地はあると思っている。</p>
<p>鍵谷委員</p>	<p>本来は誰でもそこにいち早く行ける、逃げ場所があるという基本に戻って、多くの方がどの方角からも新庁舎に向かって行きやすい状況をつくるのが、防災拠点とするのであれば大事であると思っているので、そういった含みも持って対応していきたいと思う。</p> <p>後期基本計画の見直しの中で、財政事情においても大きな事業として短期に40数億円の投資が進むことによって、町民が必要としている事業、教育や福祉などいろいろな問題についても、庁舎優先の財政方向の中できちんとハンドリングして、延期することは延期するなど、多くの町民の生活環境の中で一番大切な部分を最優先に進めていただきたいと思う。予算を削りながら庁舎の方に回さなけれ</p>

	<p>ばならないという財政運営はできる限り行わず、町民を第一とした財政運営を進めていただきたいと思います。</p>
総務部長	<p>大きな予算・事業となり、財政を扱う部としても大変であると危惧している。町長も庁舎のために一般の予算を削ることはないという方針で進めている。</p>
益川会長	<p>非常に大きなテーマで、実質が伴うものとして庁舎建設を進めるというところで、各所の意見を聞いて、修正すべきものは修正して進めていただきたいと思いますというご意見であったと思う。後期基本計画に対しても大きな方向性であり、貴重なご意見、根本に考えるべき観点であると思う。</p>
中瓦委員	<p>教育の部分では、G I G Aスクールの推進で町もタブレット、学校の環境整備は予算があり進んでいくかと思う。ただ、環境ができれば良いのではなく、後期の基本計画ではそれをどう使っていくのかというのをしっかり入れてほしいと思っている。</p> <p>国も環境整備については大きく謳っていますが、それをどう活用していくのかは曖昧で、教科書や学習内容を組み込むのは来年度以降のようである。町としては先進的に取組んでもらえることがあればよいかと思っている。それがひいてはこの地域で子育てをしようという売りにもなると思うので、ソフト面での具体的な計画を組み込んでほしいと思う。</p>
企画調整係長	<p>具体的な計画については、教育委員会が持っている個別の計画がある。もちろん総合計画に紐づいた個別の教育委員会の計画となるので、現場の教員のフォローがどうなっていくのか、しっかりと現場の状況を押えながら進めていくべきであり、教育委員会に伝えていきたいと思う。</p>
益川会長	<p>タブレットを与えることは目的ではなく、子ども達の豊かに育つことであり、それを実現するための手段がタブレット配布であるので、目的を取り違えないで、配慮しながら計画に反映できると良いと思う。</p>
安藤委員	<p>子どもの学習については、SDGsの件もそうだが、中学生、高校生は2030年までSDGsをこの10年で進めていくという話なので、今ここでSDGsを学び理解ことができると、持続可能な社会をつくり上げる大きなものになると思うので、ぜひG I G Aスクールとともに子どもに対する分かりやすい手法でSDGsの教育も取り入れていただきたい。</p>
益川会長	<p>人づくりも総合計画の一つの柱になるので、そういった方向性を持った計画を</p>

	<p>考えていただければと思う。</p>
山田委員	<p>今年度予算の時に、庁舎、亜炭鉱防災対策、願興寺の3つの重要事業が町長から発表されている。</p> <p>庁舎の現段階での設計図については、先日の臨時議会で町長から、これが全てではなくて今後も防災の拠点としての見直しはしていくという説明があった。これから諸手続きに入って見える形で徐々に出来てくると思っているし、議会としても21号バイパスの4車線化について国に働きかけていきたいと思う。</p> <p>また、亜炭鉱廃坑防災対策について総額で100億の国等の予算を確保いただいている。防災ハザードマップの危険度の高いところから進めているが20%程度しかできていない。昨年は2回上京して継続について要望してきており、現段階では、進めていただけない思いはある。これを確実に進めることができるよう議会としても応援していきたいと思っている。</p> <p>庁舎については、これがすべてではないということですので、今後変更があると思います。</p>
総務部長	<p>庁舎については各所との協議の中で進めているので、今後ご説明させていただきます。まず、今の計画で進めて出来上がった時にということもあるかもしれないが、その点も説明をさせていただきます。</p>
須田委員	<p>3つの重点についてはもっともなこと。後期基本計画の方針でも大きく目につくもの、横文字のものと、自分の関わっているものは交わっていないと感じる。世の中はどんどん変わっていくが、自治会や民生児童委員の立場では、人と人とのつながりが大事だということ。例えば人と人とのつながりがなくて教育ができるのか、タブレットで勉強ができるかもしれないが、人と人とのつながり、やさしいまちという部分がどこか消えているのではと感じる部分もある。</p> <p>結局、大きな事業の下で見捨てられるものがないように、ちゃんと拾ってほしいということを伝えたい。送木のビオトープを町が昔つくったが、たいぶ朽ちてきている。あれはみんなのものなので、もう少し維持して行ってほしいが、みんなが事業を進めいるいろいろな人がかかわりながら大事にすることが必要だと思う。横文字ばかりでは分かりにくいと感じる。</p> <p>それから今年自治会長をやっているので、防災の件で、減災ということで災害が起こる前の対策としてみんなが動いていくというのは今のところうまくいっていると思うが、少子高齢化で空き家が増えてきている。空き家でもすぐに住めるようなものなら良いと思う。</p> <p>送木の公民館も土砂崩れの危険がある箇所に立地し、家屋も同様の場所に建っています。空き家が地域の真ん中にあるので、公民館に避難できない分空き家を</p>

	<p>借り上げることができる協定ができないかと思っているところ。</p> <p>とにかく言いたいのは、人にやさしいまちということで、計画を作るには腹に落ちるものとしていただきたいと思う。</p>
益川会長	<p>確かにAIやSDGsなど、言葉面できれいなことが並んでいて、これらは確かに今後見据えるべきだというのは間違いないところではあるが、よそよそしいものになりがちになるというのは仰るとおり。手触り感があることを大事にしたり、大きな事業の谷間に陥って見落としがちになるけれど大事な部分にも気を配りながら、やさしさ、福祉などもしっかりと重点に置きながら計画をつくってほしいと思う。重い言葉として受け止めていただき、計画の中に反映していただくよう検討していただきたい。</p> <p>また、私の意見ですが、コロナの関係の中でICTの推進も大事だが、逆にいえば本質的には危機の時こそつながりが大事となるという部分もある。テクニクの部分以上に、どういう町にしていくのか、本質的なことをぜひ議論して計画に盛り込んでいくべきであると感じた。</p>
重政委員	<p>この数年にコロナやSDGs、IoTなど第五次総合計画を策定した5年前に想像しなかったことが起こってきている。金融機関においても、例えばお客さんが窓口に来なくても金融機関のサービスを提供できるようにしている。非対面で行うことに難しさを感じているが、同じことが町政にも求められているというのは感じたところ。来年、再来年も新しい出来事が起こってくると思うので、時代に応じてバージョンアップや見直しに柔軟に対応していただきたい。</p> <p>また、例えば外国人観光客の増加を見込んでいる計画などが残っている。今策定するにあたって、外国人観光客を見込んだ数値目標としては妥当性があるものか、数値として落とし込めるものなのか見直しをしていかなければならない。ここ1、2年はこの数値はほぼゼロに近くなるので、それに代わる何かを考える必要があると感じた。</p> <p>それからこのコロナ禍において、御嵩町だから人を呼べるものがあると思っている。首都圏で仕事をしていた方が首都圏にいなくても仕事ができるような環境が進められていくであろうということであれば、移住者がここで仕事ができる環境を整えていくことが、後期の計画に少しでも盛り込むと良いと思う。これは御嵩町だからできることであり、世の中の逆境でも御嵩町にプラスになることがあれば、それを生かしていくべきであると思う。</p>
益川会長	<p>ある意味シリコンバレーのようなことももしかしたら考えられるかもしれない。マイナスの現状をプラスに転じていく姿勢も必要であると思う。</p>

<p>松浪委員</p>	<p>町の事業の中で庁舎建設が大きなウエイトを占めている。新しく庁舎ができたから今の段階では児童館・保育園の移転というような青写真のなものはうかがっている一方、児童館はみたけスポーツ文化倶楽部が指定管理を受け運営しているが、そこには今のところ話がない状況。指定管理も他事業者へ移行するのであれば、今現在の職員はどうなるのか不安を持っているし、健康まつりにも子どもまつりが運営できるのかどうか、そのあたりの心配もある。担当の福祉課でも、その先は現在では分からないという答えであり、それはクラブの職員にも伝えなければいけない。</p> <p>町全体の問題として健康面など、各課と連携が取れる形で運営ができれば良いと思う。</p>
<p>益川会長</p>	<p>庁舎に関連したご意見ですが、後期基本計画を策定する手法についてのご意見と受け止めた。ワークショップ開催などもうたっており、計画策定を進める上でいろいろな人のご意見を聞きながら、透明性を持って進めていってほしいと思う。情報が伝わらない、透明性がないような状況ではなく、できるだけ多くの方の意見を取り入れる形で、策定を進めてほしいと思う。</p> <p>後期の計画の視点は事務局案の通りと思うので、こうした時代の潮流も含めた形で計画策定を進めてほしいと思う。ただし、計画という言葉が上滑りする部分もあるので、ぜひ実質化、具体化を見据えながら計画を策定してほしいという要望があったので、まずこの一点、事務局には審議会の意見としてお伝えさせていただきたい。</p> <p>二つ目については、方針に示されていることは妥当だと思うが、きれいな言葉が出てくると、住民にとってはよそよそしくなりがちになってしまう部分もある。ぜひ、手触り感を持った計画に、最新の動向の中で、谷間、弱くなりそうな部分についても見落とさず計画の中に盛り込んでほしい。</p> <p>三つ目にコロナ禍など町を巡るマイナスの現状があると思いますが、マイナスをいかにプラスに転換していくという観点が重要、その視点を持って策定してほしいと思う。</p> <p>四点目としてはコロナのことを踏まえて計画を策定してほしいが、ICTの活用などの手法の事のみではなく、危機の状況ではつながりが大事であると改めて出ている。本質的なことでウイズコロナ、どういう町にしていくのかつながりがある町にする観点で計画を策定してほしい。</p> <p>最後に、財政状況を勘案しながら、本質的には当たり前だが町民にとって一番大事であることを進めるという視点を忘れずに持っていただきたい。</p> <p>以上の点を以て、本日の審議会意見のまとめとさせていただきたい。委員の皆さまから良い意見を頂戴できたと思うので、事務局としてはしっかり受け止めて、これらを踏まえた計画を策定していただきたいと思います。</p>

	<p>最後にその他とありますが、直接議題にない部分でも構わないので、委員からありましたらお願いします。</p> <p>=====</p> <p>意見なし</p> <p>=====</p> <p>ではこれで令和2年度第1回総合計画審議会の議事を終了する。</p>
--	--

○閉会

<p>企画課長</p>	<p>最後に総務部長の須田よりご挨拶申し上げ、会議を閉じさせていただきたいと思えます。</p>
<p>総務部長</p>	<p>委員の皆さまには、長時間に渡り審議をいただき、ありがとうございました。ワークショップなどを開催しながら後期基本計画を策定していくということで、より多くの方のご意見をいただきながら策定を進めていきたいと思っています。会議の中でもありましたがSDGsやSociety5.0、新しい生活様式など、社会情勢や経済情勢は刻一刻と変化しており、今申し上げたものや資料の中の策定のポイントを踏まえ、計画策定に邁進していきます。委員の皆さまにおかれましても、今年度は足を運んでいただく機会が多くなりますが、今後ともご意見、ご助言を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。</p>